令和7年度第1回狭山市総合計画審議会 会議録

開催日時 令和7年7月11日(金)午後1時00分~午後2時50分

開催場所 狭山市役所 7階 職員研修室

出席者 18名

欠席者 2名

市出席者 市長、企画財政部長、企画財政部次長(行政経営課長兼務)、 企画財政部次長(企画課長兼務)

傍聴者 0名

議題等

- 1. 委嘱状交付
- 2. 会長、副会長の選出
- 3.議事
 - (1) 第5次狭山市総合計画の策定状況について
 - (2) 今後の策定スケジュールについて
 - (3) その他

質 疑

議事(1) 第5次狭山市総合計画の策定状況について

委 員 第 4 次狭山市総合計画と第 5 次狭山市総合計画(以下「第 5 次総合計画」とする。)の主な相違点は。

事務局 第 5 次総合計画は、市民にとって分かりやすい・伝わりやすい計画を目指し、シンプルな構成に再構築した。具体的には、基本構想の章立てを 6 章から 4 章に変更し、また、記載順についても、将来像という抽象的なものから、基本理念・基本方針と徐々に具体化し、基本計画に繋げており、読み手が理解しやすい構成にしている。

委員 今後ますますデジタル化が進んでいくなかで、第5次総合計画においても、行政・市民ともに、これまで以上にデジタル技術への対応が求められることについて、計画に記載する必要があると考えているが、計画に反映されているのか。

事務局 第 5 次総合計画では、「デジタル技術の活用」を全分野の施策を 下支えするものとして位置付けており、市民の利便性向上や業務の 効率化及び、デジタルデバイドへの対応に両輪で取り組むことを想 定している。 委員 時代の変化に柔軟に対応するため、機動的な計画としているとのことだが、長期計画では柔軟性を持たせることが難しいところでもある。どのような点を工夫したか。

事務局 総合計画は基本構想・基本計画・実施計画の3層構造であり、それぞれ計画期間が異なるため、計画期間が短くなるにしたがってより具体的な記載内容にしている。また、さらに個別具体的な取組については、各所管で策定している個別計画に記載しており、社会状況の変化に合わせて臨機応変に対応が可能な計画の体系としている。

委員 伝わりやすい計画を目指すのであれば、文字だけでなくイラスト や図を用いるとより分かりやすくなると思うが、今後取り入れる考 えはあるか。

事務局 今後、計画を冊子にした際のデザイン等についても検討をしてい くが、図やイラストを取り入れるなど、視覚的にも分かりやすい計 画づくりを進めていく。

議事(2) 今後の策定スケジュールについて

委員 計画の進行によって成果指標が変更することがあるのか。

事務局 成果指標については、施策の目指す姿に到達する度合いを測るものとして、可能な限り定量的で分かりやすい指標を設定しており、計画期間中は、成果指標が変更されることはない。

委 員 第 5 次総合計画基本構想及び前期基本計画の素案の内容について、これまで本審議会で審議したことはあるか。また、市長の意向は反映されているのか。

事務局 素案については、本市の現況や市民意識調査などを踏まえて、庁 内検討組織で検討し作成しており、今回初めて本審議会に示してい るため、これから内容を審議いただくものである。また、市長の意 向についても、庁内検討の過程で素案に反映している。